

## 2013年3月期第2四半期連結決算報告(2012年4月1日～9月30日)

- 上期業績は8月2日に発表した修正業績見通しどおり。通期業績見通しは変更なし
- 上期業績は欧州を中心とした厳しい市場環境を反映
- リストラクチャリング施策および生産性改善は計画通り進捗
- 短期的な戦略としては、収益性の改善に注力。付加価値製品は、長期的な成長計画の鍵

### 上期業績は8月2日に発表した修正業績見通しどおり。通期業績見通しは変更なし

- 2012年8月2日に発表した通期業績見通しどおりの上期業績
- 市場環境は全体的に低位安定状態
- 欧州の自動車用および建築用ガラスは市場低迷
- 日本市場は堅調で、建築用ガラス事業で回復の兆候も見られる
- 北米市場では自動車用ガラスの数量が引き続き回復
- 高機能ガラス市場は堅調
- ソーラー用ガラスの数量は下げどまるが、前年上期より低水準
- 持分法適用会社も厳しい建築用ガラス市場の影響を受ける
- 当年度中は市場環境の大幅な改善は見込めず

### 上期業績は欧州を中心とした厳しい市場環境を反映

- グループ売上は2,607億円(前年同期2,885億円)。前年比10%減収だが、為替変動を除くと5%減収
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は23億円(前年同期129億円)。特に欧州の厳しい市場環境を反映
- 建築用ガラス事業は、売上1,081億円(前年同期1,284億円)、営業損失26億円(前年同期営業利益81億円)
- 自動車用ガラス事業は、売上1,211億円(前年同期1,282億円)、営業利益27億円(前年同期営業利益37億円)
- 高機能ガラス事業は、売上308億円(前年同期313億円)、営業利益32億円(前年同期営業利益39億円)
- 個別開示項目費用は、101億円。リストラクチャリング費用(67億円)と有形固定資産等の減損損失(38億円)を含む

### リストラクチャリング施策および生産性改善は計画通り進捗

- リストラクチャリングによる250億円/年の収益性改善に向け計画進行中
- リストラクチャリングによるコスト削減により、下期に収益性改善
- 生産能力の削減、間接費用削減、生産性改善をリストラクチャリングの主要項目として注力
- 建築用フロートガラス生産能力削減を発表。欧州では30%、北米では25%を削減
- 欧州での自動車用ガラス加工拠点2工場の閉鎖提案を2012年10月26日に発表
- 間接費用の削減:2012年9月末までに1,750人をすでに削減

### 短期的な戦略としては、収益性の改善に注力。付加価値製品は、長期的な成長計画の鍵

- 明確な実行計画とこれによる財務状況および業績の改善
- 固定費圧縮により将来市場変動にも柔軟に対応できる強靱な企業体質を構築
- 長期的な成長機会が明確であり、付加価値製品分野に重点を置く

連結損益計算書



(億円)	13年3月期 4月-9月期	12年3月期 4月-9月期	前年比
売上高	2,607	2,885	-10%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	23	129	
償却費*	(33)	(37)	
個別開示項目前営業利益(損失)	(10)	92	
個別開示項目	(101)	-	
営業利益(損失)	(111)	92	
金融費用(純額)	(68)	(71)	
持分法による投資利益	2	43	
税引前利益(損失)	(177)	64	
当期利益(損失)	(166)	63	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	(169)	57	
EBITDA	164	290	-43%

\*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却のみを考慮  
\*\*為替変動を除くと-5%

市場環境は厳しい状況が継続

2012年10月31日 | 2013年3月期第2四半期決算報告

2013年3月期通期業績見通し(8月2日発表)



(億円)	13年3月期 上半期	13年3月期 通期
売上高	2,600	5,300
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	10	100
償却費*	(35)	(70)
個別開示項目前営業利益(損失)	(25)	30
個別開示項目	(105)	(210)
営業利益(損失)	(130)	(180)
金融費用(純額)	(75)	(150)
持分法による投資利益	15	30
税引前利益(損失)	(190)	(300)
当期利益(損失)	(170)	(270)
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	(170)	(280)

\*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却のみを考慮